

羅漢図

3 幅

今回、羅漢図 3 幅が展示されている。室町時代のもので、慧龐（えほう）筆のものである。筆者については、『大日本人名辞書』によれば、「盡僧、名は徳鼎、初め周文に学ぶ梢々似て而して粗筆なり後牧溪玉礪を追慕す殊に人物に長ぜり（本朝画史、扶桑画人傳）」と述べられている。この人物の画歴については不明の所が多いと見える。

この 3 幅は目録によれば、明治 29 年、吉川重吉氏（幕末の藩主経健の弟、貴族院議員として活躍した。）から吉川家に贈られたものである。

これには探原齊の添え状が一通付けられている。「紙本阿羅漢三幅対致一覽候処、慧龐直筆にて候畢、 亥七月七月、 探原齊法眼（花押）」とある。

探原齊は狩野派の絵師で、狩野探原のことである。文政 12 年（1829）生まれ、慶応 2 年（1866）に死去している。彼の生前中、亥の年は天保 10 年と嘉永 4 年である。おそらく嘉永 4 年（1851）にこの羅漢図を実見したものであろう。どのような事情で、この絵をが吉川重吉氏が所持することになったかは不明である。

目録の記述を以下に引用しておく。

- | | | | | | | | |
|---|---|-----|----------|----------------|------|--------|---|
| 「 | 1 | 形質 | 紙本墨画 | | | | |
| | 2 | 時代 | 室町時代 | | | | |
| | 3 | 作者 | 慧龐筆 | | | | |
| | 4 | 寸法 | 紙中 縦 | 116、0センチ | | | |
| | | | 横 | 56、4センチ | | | |
| | | | 表装 縦 | 215、0センチ | | | |
| | | | 横 | 71、7センチ | | | |
| | 5 | 附属 | 表装 | | | | |
| | | | 上下 | 淡茶地牡丹唐草文純子 | | | |
| | | | 中 | 焦茶地牡丹唐草三葉葵文金襴 | | | |
| | | | 一風 | 浅葱地牡丹唐草文金襴 | | | |
| | | | 象牙軸 | | | | |
| | | | 絹啄木 | | | | |
| | | | 桐箱 | | | | |
| | | | 黄色木綿包 | | | | |
| | 6 | その他 | 十六羅漢と伝える | | | | |
| | | | (印) 慧龐 | (印) 徳鼎 | (鼎印) | 印 (承琥) | |
| | | | 上方は筆者印 | 下方は今地院崇伝の所蔵印なり | | | 」 |